

熱中症防止キャンペーン ～全員参加で「熱中症ゼロ」を目指す！～

事業者名	株式会社京葉興業 安全環境室
業界・業種	産業廃棄物処理業
従業員規模	591名
地域	東京都

背景（課題・ニーズ）

2024年夏は記録的猛暑となり、全国で熱中症による救急搬送者数が過去最多を記録。これを受けて2025年6月、安全衛生規則が改正され、企業に熱中症対策が義務化された。当社では高リスク作業現場を多数抱えており、深刻な危機意識のもと、安全環境室を中心に各事業所と連携して啓発活動を展開し、熱中症撲滅に向けた取り組みを進めている。

取り組んだプロジェクト内容

- ①各事業所のパトロールを実施し、熱中症リスクの高い作業や状況について直接ヒアリングを行い、実態把握を強化、熱中症ゼロの決意を意識共有。
- ②運搬作業部署や処理場部門と連携し、熱中症重篤化防止を目的とした実地訓練を実施、その様子を録画して動画マニュアルを制作。
- ③人事総務部と連携し、夏季作業服・空調服・冷却グッズ等のニーズを現場部署にヒアリング。業者と協力し、的確な製品の選定とタイムリーな供給を開始。

顔を合わせたコミュニケーションで意識共有



熱中症対応実地訓練を実施し、録画して動画マニュアル制作



空調服と冷感インナーで快適



やってみての効果

現場部門全12事業所を訪問し、対話を通じて高温下での作業や体力負荷の違いを体感。それぞれの部署で異なる暑熱リスクや管理体制を理解し、「熱中症ゼロ」への思いを共有した。信頼関係と安全意識の向上につながり、今年度は熱中症事案ゼロを達成。さらに、役員会で現場の声を発信し、全体の機運を高めたことで、各事業所の意識と行動に変化が生まれ、熱中症対策の定着が進んだ。

今後の目標や展望

熱中症リスクの高い作業における環境や管理方法の多様性を踏まえ、全社的な統一対応と現場ごとの自主対応を明確に区分することが、対策効果の向上につながると認識。今後は、これを基に各部署との連携を強化し、現場の作業環境に応じた服装の検討など、より実践的な対策の具体化を進めていく。